

茨城学習センター所属であり在籍中（卒業生は不可）であれば受講できます。ゼミは年度ごとにお申し込みが必要です。お申し込みは 2 階事務室窓口にて『ゼミ申込書』をご提出してください。

*  このマークが付いている先生は、2025 年度 1 学期に面接授業を開講しております！

NEW

テーマ『技術を使って気持ちを的確に表現する歌唱』

* 8 月以降曜日変更有



たにがわ よしゆき
谷川 佳幸

毎月 1 回 **火曜日 13 時 00 分～**



概要：体が楽器、自然で無理の無い発声という言葉を理解し、西洋で発達した歌唱のための発声法を身に付けます。お腹から声を出すとは、響きで歌うとは、そして気持ちを込めて歌うとはどういうことなのか。そのためには何に注意し、どこをどう使って声を出すのか、漠然とではなく 1 つずつの技術を確実に自分のものとしていきます。

計画：毎回の流れとしては、発声、練習曲、歌曲などを休憩をはさみながら全員で歌っていきます。イタリア語の歌から始めますが、なぜイタリア語なのかとも理解した上で、1 年の後半には日本語歌唱に発展していくことを目指します。楽譜は学生の進度に合わせてこちらで用意配布します。

メッセージ：実技は知ったところがスタート地点です。分かったからといって出来るものでないのは当然で、直ぐに出来ないからと気にする必要はありません。確実に身に着けるための継続練習こそが大切です。皆で楽しく声を出し続けましょう。

テーマ『果実や野菜の生産や利用について考えよう』



いのうえ えいいち
井上 栄一

毎月 1 回 **土曜日 9 時 30 分～**



概要：果実や野菜は青果物とも呼ばれ、副食性の食品として我々の健康維持に欠かせない農産物です。果実や野菜は種類や品種が多く、その生産や利用には地域性があるため、農業活性化のみならず地域振興のためにも重要な品目となっています。本ゼミでは身近な果実や野菜の生産や利用について、あらためて調査し学習することによって知識を深めることを目的としています。

計画：果物や野菜について、品目ごとに複数回（2～3 回程度）に渡って深く学んでいきます。まず教員から対象とする品目の栽培や利用の基礎や現状について話題提供します。次に栽培や利用における地域による特徴や時代的な変遷について、参加者が集めた情報を共有し議論したいと思います。情報収集の一環として、見学も積極的に取り入れたいと考えています。

メッセージ：身近な果実や野菜を取りあげて、色々な角度からあらためて深く考えて意見交換するゼミです。ぜひ気軽にご参加いただければと思います

テーマ『老舗から水戸の商工業の変遷をたどる』

おの でら あつし
小野寺 淳

毎月 1 回 **水曜日 15 時 00 分～**



概要：旧城下町水戸には、現在でも多くの老舗が残ります。老舗の業態の変化を聞き取りと資料・地図から明らかにしていきます。江戸時代から近現代における水戸の商業や伝統工芸などの変化をたどります。ゼミの皆さんとともに、城下町水戸の再活性化を考える上での基礎データを作成し、議論しましょう。

計画：聞き取りを中心とするフィールドワーク、翌月にはそのとりまとめと発表、そしてディスカッションをします。

メッセージ：何代にもわたって引き継がれてきた老舗、様々なご苦労があったと思います。そうしたご苦労に学びながら、これからを考えていきましょう。

テーマ『ドイツ文法を学び、ドイツ文学を読む』



さとう かずお
佐藤 和夫 毎月1回木曜日 13時30分～
(8月休講, 6・7・12・1, 2月オンライン開催)

概要: 前半は文法を中心として初級＋中級の練習問題を全員で検討します。今年度は新しい教材に取り組みます。後半は近代から現代のドイツ文学作品をやさしく書き改めたテキストを講読していきます。CEFRのレベルでB1、1,800語程度が基礎になっています。

計画: 前半は新しい文法教材に取り組みます。後半はドイツの作家、Erich Kästnerの“Drei Männer im Schnee”を読みます。懸賞に当たって冬の高級リゾートホテルに泊まることになった貧しい青年。時を同じくして泊まることになっていた大富豪と取り違えられて一騒動が、。

メッセージ: 「急がず休まず」(ゲーテの言葉)歩みを進めていきましょう。

テーマ『やさしい英会話教室』



しらいし まさたけ
白石 昌武 毎月1回土曜日 10時00分～
(オンライン開催!)

概要: 中学校から英語を学んでいるが英語を話せない。文法を気にし過ぎ、中々言葉として出せない。そこで文法などを気にせず、出来るだけ易しい単語を用いて口に出すことから始めよう。例えば: When did you get up this morning? (今朝何時に起きましたか?) I got up at seven. (7時です) のように昔学んだ易しい単語を用い、文章を口に出して他の人に伝える、これが基本です。

計画: しばしば用いられる英語フレーズに基づき、知っている単語を使って短時間で自由に文章を作成し発表する。それについて参加者が英語で自由に質問する。

メッセージ: 参加者は50歳から70歳過ぎの方々5～6人で、和気あいあいと楽しくやっています。どなたでもお気軽にどうぞ。

テーマ『保健医療福祉の現代的課題』



check たきざわ としゆき
瀧澤 利行 毎月1回土曜日 10時00分～

概要: 日本は未曾有の人口減少社会に入っています。これに対応しなければならない課題は保健、医療、福祉、そして労働の広い領域におよんでいます。今年度はこれらの課題の現状と対策の方向性を考えていきたいと思います。

計画: 第1回: 日本の保健医療福祉の現状、第2回: 現代医療の現状と課題1、第3回: 現代医療の現状と課題2、第4回: 保健活動の現状と課題1、第5回: 保健活動の現状と課題2、第6回: 社会福祉の現状と課題1、第7回: 社会福祉の現状と課題2、第8回: 労働社会の現状と課題1、第9回: 労働社会の現状と課題2、第10回: 解決への模索1、第11回: 解決への模索2、第12回: 総括

メッセージ: 日頃の保健医療福祉に関するデータや報道に関心をもっていてご参加ください。

テーマ『動物行動研究から探るヒトのこころの世界』



check やまだ かずお
山田 一夫 毎月1回土曜日 9時30分～

概要: 動物心理学や行動神経科学に関する研究論文を購読し、ヒトと動物のこころの共通性や違いについて学び、ヒトのこころの本質について議論します。また、動物を対象とした実験心理学的研究について、その手法や最近の知見について紹介します。

計画: 受講生の興味に合わせた研究論文を検索し、各ゼミでは担当者による論文内容に関する発表と教員による解説、そして全員による議論を行います。

メッセージ: ペットであるイヌやネコに「こころ」があると思う人は多いと思いますが、では害虫であるゴキブリや蚊に「こころ」はあると思いますか？動物とヒトの行動における共通性と違いについて学んでいくことで、「人間とは何なのか」について考えてみましょう。

テーマ『情報通信・ネットワークの基本を知ろう』

はぶち ひろまさ
羽瀨 裕真 毎月1回 土曜日 9時30分～



概要：今やデータ・情報が世に溢れ、それらを活用する生成AIなどが取り上げられています。また、5Gがサービスインし、研究は6Gへと向かっています。それらは『デジタル』がキーになっています。このゼミでは新しい通信サービスを空想したり、簡単なプログラムを作成したり、話し合いながら『デジタル』の理解を深めます。

計画：通信はスマホだけでなく、宇宙・地上・海中での通信も考えられたり、実装されたりしています。それらについて少しSF的に考えてみます。また、情報検索エンジン、ExcelやPythonの使い方から始め、簡単なプログラム作成などにより『デジタル』への理解を深めます。毎回のゼミでは、皆さんと意見交換しながら進めます。

メッセージ：言葉は今を知り、未来を創造/想像できるキーです。通信やデータに関する言葉から将来に思いを馳せてみましょう。自分のPCでPythonやExcelなどで簡単なプログラムを作成したり、楽しみながら理解を深めましょう。

テーマ『在宅看護・介護について考える』

check まえだ かずこ
前田 和子 毎月1回 土曜日 9時30分～



概要：地域包括ケアシステムが推進されている今、従来の病者中心ではなく、人々が地域で生活・療養することを基盤に据えた看護がますます注目されています。住み慣れた地域でその人らしい暮らしを生きるために必要な介護予防や看護、さらに家族の支援についても考えていきます。

計画：このゼミでは、毎回関心のある話題を受講生に提供していただき、在宅看護や介護における身近な問題、課題についてゼミ生同士でディスカッションしながら、理解を深めていきたいと思います。

メッセージ：健康であってもそうでなくとも、生活者とその家族が地域で暮らしていくためのニーズが、多岐にわたることを実感できる場になればと思います。

テーマ『発達障害について考える』

check みずぐち すすむ
水口 進 毎月1回 日曜日 9時30分～



概要：発達障害には自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、特異的学習症が含まれます。それがわかるのが多くは幼児期です。最近は大人の発達障害が話題になっています。幼児期、児童機期、青年期、それぞれの時期における発達障害のありようについて、調べ、考え、みんなで話し合い、発達障害についての理解を深めましょう。

計画：発達障害について、みなさんが今もっている知識を知り、みなさんに調べてほしいテーマを与えます。調べたことを報告してもらい、それに対して私が事例をまじえながら解説を加えていきます。皆さんとの討論を大事にします。また自閉症児を兄弟にもつ方のために書かれた本(英文)を講読する時間もちたいと考えています。

メッセージ：発達障害について簡単に書かれた本(新書版)がたくさんでいますので、数冊読んでみるようにしてください。しかしその知識を深めるには論文を読む必要があります。論文の探し方についてもこのゼミで学んでいきましょう。

テーマ『近世の史料や古文書を読む』

check ちば まゆみ
千葉 真由美 毎月1回 木曜日 9時30分～



概要：江戸時代の村や町の史料を読みながら、当時の社会を学んでいきます。人々の努力や意識を史料に書かれた語句や文章から丁寧に読み解き、またそれぞれが調べた内容を持ち寄って知識を深めたいと思います。

計画：茨城県内にあった村や町を対象に、すでに活字として刊行されている史料の講読から始めます。くずし字の解読も初心者向けの古文書から始めていく予定です。

メッセージ：くずし字にも挑戦して、古文書解読を進めます。難しいと思うかもしれませんが、悩みながら楽しんで学んでいきましょう。

毎月ゼミの日程 は茨城学習センターの**ホームページ**に掲載しております。

日程は変更となる場合がありますのでご注意ください。

* 茨城学習センターホームページ : <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/ibaraki/>

* ゼミ申込に関するお問合せ先 : 029-228-0683 (放送大学茨城学習センター)

